

一般社団法人山口県医師会平成29年度第11回理事会

平成29年9月7日(木) 午後5時～午後7時17分

河村会長、吉本・濱本副会長、林専務理事、弘山・萬・加藤・藤本・今村・沖中常任理事、白澤・香田・中村・清水・船津・前川・山下理事、藤野・篠原・岡田監事

協議事項

1 第1回郡市医師会会長会議の議題について

10月12日開催の標記会議の日程及び議題について協議を行った。

2 平成30年度特定健診の標準単価及び後期高齢者の健康診査における検査項目の追加について

今年度は診療報酬の改定がないため、平成30年度の特定健診標準単価及び後期高齢者健康診査の単価を変更しないことが了承された。また、特定健診においては血清クレアチニンが詳細な健診項目に追加され、後期高齢者健康診査においては血清クレアチニンと血清アルブミンが検査項目に追加されるとともに、これまで選択とされていた「空腹時血糖」と「HbA1c」が必須となることが報告され、了承された。

3 次期(第7次)保健医療計画の「5疾病及び在宅医療」の医療機能案について

第7次山口県保健医療計画の策定にあたり、現在、ワーキンググループで検討している医療連携体制(5疾病・在宅医療)における医療機能案について、次回理事会(9月21日)で協議することが決定した。

4 県下医師会立看護学院(校)対抗バレーボール大会に関する調査について

先般、教務主任会からバレーボール大会中止の要望が提出されたことから、今後の運営方針等について、郡市医師会及び看護学院(校)にアンケート調査を実施した。その結果、開催に前向き:5医師会3学院、自由参加等の条件付き:2医師会1学院、中止を希望:1医師会4学院であった。大会の開催趣旨及び学生の学校生活・教育の視点から存続を希望する意見もあることから、運営の細部について改善を行った上で、開催は継続することが決定した。ただし、今後5年間の学院の状況や意見に鑑み、再検討を行う予定である。

5 矯正医官の募集について

山口刑務所長より、山口刑務所に勤務する「矯正医官」の募集について協力依頼があり、郡市医師会を通じて会員等へ周知することが決定した。

6 第35回全国都市緑化やまぐちフェア(愛称:山口ゆめ花博)協賛金への協力依頼について

平成30年9月14日～11月4日に山口県・山口市・公益財団法人都市緑化機構の主

催で標記フェアが開催される。本フェアは国内最大級の花と緑の祭典であり、山口県が平成 30 年の明治維新 150 年記念事業の一環として実施することから、1,500 万円の協賛金の協力依頼があった。本会が実行委員会の委員であり、県医師会・山福株式会社・本会会員で 1,000 万円を目標に寄付を募ることが決定した。

7 日医代議員会「委員会」委員の交代について

6 月末で中国四国医師会連合の担当県の任期が終了したことから、日本医師会代議員会の「議事運営委員会委員」及び「財務委員会委員」が交代することが了承された。

人事事項

1 山口県専門医制度協議会委員について

厚生労働省からの通知に基づき、昨年度山口県が立ち上げた「山口県専門医制度連絡会」を見直し、標記協議会が設置されることとなった。山口県健康福祉部長より委員推薦の依頼があり、加藤常任理事を推薦することが決定した。

報告事項

1 山口県自殺対策連絡協議会（8 月 3 日）

国及び県の自殺の状況について報告の後、自殺対策の取組状況、改正自殺対策基本法及び自殺総合対策大綱、山口県自殺総合対策計画の改定について協議した。（濱本）

2 山口県動物由来感染症情報関連体制整備検討会第 1 回会合（8 月 4 日）

平成 29 年度事業実施計画（案）及び重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について協議した。（今村）

3 医事案件調査専門委員会（8 月 17 日）

病院 1 件、診療所 1 件の事案について審議を行った。（林）

4 山口産業保健総合支援センター連絡会議（8 月 17 日）

平成 28 年度事業実施状況、平成 29 年度事業計画及び 4 月～6 月の進捗状況、平成 29 年度産業保健関係助成金、治療と職業生活の両立支援について説明の後、意見交換を行った。（藤本）

5 山口県衛生検査所精度管理専門委員会（8 月 17 日）

平成 28 年度に立入検査を行った 6 検査所の改善状況の報告及び平成 29 年度外部精度管理調査の実施等について協議を行った。（沖中）

6 第 48 回中四九地区医師会看護学校協議会（8 月 19・20 日）

熊本県の八代看護学校の引受けで開催された。横倉義武 日本医師会長及び福田 稠 熊本県医師会長の挨拶の後、「看護職員の養成と確保について」（厚生労働省医政局看護課 島田陽子 課長）、「准看護師制度の意義と日本医師会の活動方針について」（日本医師会 釜菴 敏 常任理事）等の講演及び総合討論が行われた。なお、徳山看護専門学

校より、本協議会の要望が「准看護師養成所の存続」が中心であり、3年課程としては参加のメリットがないとの理由から協議会退会の申出があり、承認された。(沖中)

7 中国地区学校保健・学校医大会 (8月20日)

島根、広島、鳥取、岡山の各県医師会から研究発表の後、「スマホに関する県教委の取組」と題する岡山県教育庁保健体育課の山本圭司 課長の講演と、「学校保健の現状と課題」と題する日本医師会の道永麻里 常任理事の講演が行われた。(藤本)

8 山口県小児救急医療電話相談事業研修会 (8月20日)

平成28年度実績報告及び昨年11月に実施した「繋がりにくさ」調査結果の報告の後、「小児救急電話相談対応者研修会」の参加者1名から参加報告が行われた。続いて、「小児救急電話における医療従事者の陥りやすいポイント～録音を聴いて、考える～」と題して、大阪小児科医会理事・NPO法人小児救急医療サポートネットワーク代表理事の福井聖子 先生を講師に、電話相談研修が行われた。(弘山)

9 「山口県警察官友の会」理事会・総会・講演会・懇親会 (8月23日)

理事会において、平成28年度事業報告・決算報告、平成29年度事業計画・予算、役員改選の(案)について決定し、その後開催された総会において審議、承認された。講演会では、「最近の国際テロ情勢と対策について」と題して、県警本部警備部外事課国際テロリズム対策室の藤田健治 室長による講演が行われた。(河村)

10 医事紛争防止研修会 (8月23日)

防府消化器病センター防府胃腸病院において開催。「当院における情報の周知徹底手順について」(防府胃腸病院医療安全管理者 中村章子 看護部長)、「医療訴訟について」(吉元徹也 本会顧問弁護士)、「医療紛争の現状と問題点」(林 弘人 専務理事)の講演及び質疑応答を実施した。参加者は診療部・薬剤部・検査部・事務部等75名。(林)

11 中国地方社会保険医療協議会山口部会 (8月23日)

医科では、新規1件(交代1件)が承認された。(河村)

12 新規第1号会員研修会 (8月24日)

本会の組織・事業・会員福祉、医事紛争対策及び医療保険等について説明を行った。出席者18名。(林)

13 個別指導「宇部市」(8月24日)

病院1機関について実施され立ち会った。(清水)

14 社会保険医療担当者集団指導 (8月24日)

中国四国厚生局及び山口県の共同による各種集団指導と併せて、本会が実施する全医療機関を対象とする集団指導(隔年出席制)を山口市で開催し、立会を行った。(萬)

15 第1回山口大学医学部附属病院監査委員会（8月24日）

委員長の選出後、医療・医薬品・医療機器に係る安全管理体制について審議を行った（河村）

16 臨床研修医交流会（8月26・27日）

1日目は、山口県医師臨床研修推進センターの事業紹介、山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座の下村 裕 教授による特別講演「私の自己紹介と臨床研修医の皆さんに伝えたいこと」、グループワーク「研修医駆け込み寺」、懇親会を開催した。2日目は、飯塚病院 特任副院長・総合診療科部長の井村 洋 先生による特別講演「一生使える感度・特異度と尤度比（LR）」、症例検討会及びグループワークのベストプレゼンテーション賞の発表が行われた。（加藤）

17 勤務医部会第2回企画委員会（8月27日）

座談会、総会・シンポジウムにおけるテーマ、講師、シンポジスト等を決定した。
（加藤）

18 地域医療構想調整会議検討部会「長門」（8月28日）

第1回「病床機能等医療のあり方検討部会」が開催された。会議では、①平成29年度検討部会について、②平成28年度病床機能報告結果及び報告に係る課題並びに回復期機能の確保について、③慢性期機能からの転換について等が協議された。（弘山）

19 「精神疾患」及び「心筋梗塞等の心血管疾患」ワーキンググループ第2回会合
（8月29日）

「精神疾患」ワーキンググループでは、医療機能の作成が必要な14の精神疾患等のうち、①「統合失調症」、②「うつ病・躁うつ病」、③「認知症」、④「児童・思春期精神疾患」、⑩「てんかん」について意見交換した。「心筋梗塞等の心血管疾患」ワーキンググループでは、前回からの変更点について報告・意見交換した。今後は微修正の上、各委員へメールで確認し、最終案とすることが決定した。（弘山）

20 社保・国保審査委員合同協議会（8月31日）

協議題5題、会員からの意見要望22項目について協議を行った。協議結果は本号（ブルーページ）に掲載。（萬、清水）

21 地域医療構想調整会議全体会議「萩」（8月31日）

①萩医療圏病床機能等医療のあり方検討部会設置要綱の改正、②第7次山口県保健医療計画について説明の後、萩医療圏病床機能等（医療のあり方）検討部会のテーマについて協議した。福祉関係者、受療者などからも活発に意見が出された。（弘山）

22 第27回全国医師会共同利用施設総会（9月2・3日）

大分県医師会の担当により、「健康寿命の延伸に向けた医師会共同利用施設の役割について」をメインテーマに開催された。2日は、日本医師会横倉義武 会長による特別

講演「日本医師会の医療政策」、医師会病院関係、検査・健診センター関係及び介護保険関連施設関係の3つの分科会でのシンポジウムがあり、それぞれ4施設から現状報告や課題等の発表が行われた。3日は、大分県内共同利用施設紹介、分科会報告及び全体討議が行われた。(沖中、船津、前川)

23 第145回生涯研修セミナー(9月3日)

午前中は、東京都立墨東病院皮膚科の沢田泰之 部長による「内科疾患に関わる皮膚症状」及び岡山大学病院呼吸器・アレルギー内科の木浦勝行 教授による「肺癌診療30年を振り返って」の特別講演、午後は専門医共通講習「①医療倫理」として「臨床倫理の実践～診療現場の医療倫理」、「⑤地域医療」として「地域医療構想・地域包括ケアと地域社会の未来」が行われた。出席者120名。(加藤)

24 「JMAT やまぐち」災害医療研修会事前打合せ(9月6日)

平成29年度研修会の内容について、プロジェクトチームのメンバーで協議した。いくつか出されたテーマ(案)をもとに、今後、代表者で組立等を検討することとした。
(弘山)

25 広報委員会(9月7日)

会報主要記事掲載予定(10～12月号)、炉辺談話、県民公開講座及びフォトコンテスト、ホームページのリニューアル等について協議した。(今村)

26 会員の入退会異動

入会8件、退会3件、異動10件。(9月1日現在会員数:1号1,290名、2号867名、3号444名、合計2,601名)

医師国保理事会 ー第10回ー

1 傷病手当金支給申請について

1件について協議、承認。(河村)